

弥 監 発 第 1 2 号

平成 2 3 年 9 月 1 日

弥彦村長 大 谷 良 孝 様

弥彦村監査委員 本 多 克
同 武 石 雅 之

平成 2 2 年度弥彦村水道事業会計・弥彦村特定環境保全公共下水道
事業会計 決算審査意見書

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、標題の決算を審査したので、
その意見を別紙のとおり提出する。

平成22年度企業会計決算審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

- (1) 平成22年度 弥彦村水道事業会計決算
- (2) 平成22年度 弥彦村特定環境保全公共下水道事業会計決算

2. 審査の期間

平成23年8月3日

3. 審査の場所

弥彦村役場 委員会室

4. 審査の方法

管理者から送付された弥彦村水道事業会計決算報告書・弥彦村特定環境保全公共下水道事業会計決算報告書、並びに貸借対照表、損益計算書、剰余金及び欠損金処理計算書について、法令の規定に従って作成されているかどうかを確認し、これに記載された計数について、各種関係帳票類及び証書類と照合、あるいは内容の検討を行い、併せて担当課で作成された決算審査資料に基づき、関係職員の説明を聴取して、計数の正確性並びに予算の執行、管理の適正などについて慎重に審査を実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された決算諸表は、企業会計2事業とも財政状況並びに経営の内容は適正に表示されており、決算内容の計数正否、収支の合理性についても非違はなく、現金、預金残高も預入先金融機関の残高証明書の合計額と符号していることを確認し、適正なる決算であることを確認した。

第3. 審査の個別意見

各会計の審査概要と意見については、次のとおりである。

1. 平成22年度水道事業会計決算の概要

本年度の収支は、総収入2億2,746万1,850円、総費用は1億7,878万1,996円で、差引経常利益は前年度より1,076万7,723円増の、4,867万9,854円となっている。給水人口が若干の減となったが、工業用の給水量の増加により、全体の給水量は前年度比1.34%上昇した。

なお、未収金分の特別損失4,450円は最高裁判所の判例となった民法の規定に基づくもので、やむを得ないものと思われる。

安全な水の安定給水に心がけ、配水量の減少に伴い、総収入の増加が見込めない状況であるが、健全な企業運営に努められたい。

収益的収支

(単位：円)

区 分	平成22年度	平成21年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
総 収 入	227,461,850	225,781,988	1,679,862	0.74
総 費 用	178,781,996	187,869,857	△ 9,087,861	△ 4.84
経 常 利 益	48,679,854	37,912,131	10,767,723	28.40
特 別 損 失	4,450	29,432	△ 24,982	△ 84.88
当 年 度 純 利 益	48,675,404	37,882,699	10,792,705	28.49

・業務の状況

給水人口は前年度に比べ30人減って、本年度は9,131人となったが、工業用、学校官公用の大幅な増により、有収水量は前年度より1万6,906m³多い127万5,199m³であった。

(単位：円)

区 分	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
給水人口(人)	9,131	9,161	9,143	9,017	9,054
有収水量(m ³)	1,275,199	1,258,293	1,283,527	1,338,298	1,288,035
給 水 原 価	140円20銭	149円30銭	154円07銭	148円99銭	148円18銭
供 給 単 価	176円57銭	176円48銭	176円76銭	177円17銭	176円54銭

2. 平成22年度特定環境保全公共下水道事業会計決算の概要

本年度の収支は、総収入4億5,542万8,905円、総費用3億8,563万3,461円で、差引経常利益は前年度より2,950万9,150円多い、6,979万5,444円となっている。なお、未収金分の特別損失3,150円は、地方自治法の規定に基づくものでやむを得ないものと思われる。

今年度の水洗化率は85.9%(前年84.3%)となっているが、引き続き未加入者への積極的な加入促進を進め、少しでも安定的な企業運営がなされるよう強く望むものである。

収 益 的 収 支

(単位:円)

区 分	平成22年度	平成21年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
総 収 入	455,428,905	444,050,538	11,378,367	2.56
総 費 用	385,633,461	403,764,244	△ 18,130,783	△ 4.49
経 常 利 益	69,795,444	40,286,294	29,509,150	73.25
特 別 損 失	3,150	62,700	△ 59,550	△ 94.98
当 年 度 純 利 益	69,792,294	40,223,594	29,568,700	73.51

・業務の状況

下水道施設は、住宅などから排出される洗濯水や台所用水などの生活排水が水路や河川に流入し、水質の汚染・汚濁を招き生活環境の悪化をもたらすことを防止し、良好な環境で生活していくためにはなくてはならない施設である。

これまで下水道への加入を働きかけてきていることから、年々処理人口は増加しており、処理人口は前年度より123人多い7,522人に、有収水量は前年度より1万449m³多い106万9,259m³となっている。

(単位:円)

区 分	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
処理人口(人)	7,522	7,399	7,271	6,942	6,784
有収水量(m ³)	1,069,259	1,058,810	1,065,289	1,053,565	973,426
処 理 原 価	360円65銭	381円33銭	380円79銭	413円55銭	444円13銭
処 理 単 価	149円99銭	150円00銭	149円99銭	149円99銭	150円03銭

3. 未収金について

次年度以降に繰越される未収金の内、未収工事負担金等を除いた使用料については、水道事業では、542万8,928円(前年578万5,806円)、下水道事業では、953万8,085円(前年899万6,891円)となっており、2企業会計合計で、前年度より18万4,316円増の、1,496万7,013円となっている。

税務等担当各課とも連携の上、早期のうちに万全な対策を講じられたい。